Active Directory 設定手順書

CloudGate UNO AD連携版 Active Directory設定手順書 (Windows Server 2016 Datacenter Edition)

CloudGateUNO

1.Active Directory 証明局のインストール	3
2.証明書の有効期限	20
3.証明書の作成	21

1.Active Directory 証明局のインストール

※既にインストールされている場合はこの手順は不要です。※Windows Server のインストールディスクが求められる場合があります。

1		
2018		
三 よく使うアプリ	Windows Server	
Internet Explorer		
Active Directory ユーザーとコンピューター		
	サーハーマネー Windows Windows ジャー PowerShell PowerShell ISE	
Optional Features		
	Windows 管理 ジントロール パネ	
Windows PowerShell Y	ツール タスクマネージャー ル	
Windows アクセサリ 〜		
Windows システム ツール 🗸 🔧		
Windows 管理"J-ル Y 新規	ブ接続 イベントビューアー エクスプローラー	
🛄 Windows 簡単操作 🛛 🗸		
e		
🛃 サーバー マネージャー		
漢字		
· 🖉 😥 🕅		
© 🔅 92		
¢		
- 0 m 6 -		514 B
		A 2017/02/09

「サーバーマネージャー」をクリックして起動します。

「役割と機能の追加」をクリック

🚵 サーバー マネージャー								- 6	I X
	ネージャー・ダッ	シュボード				• @ 🖡	管理(<u>M</u>)	ツール(1) 表示(V)	ヘルプ田
■ ダッシュポード		1 200-	カル サーバーの)構成					^
■ ローカル サーハー ■ すべてのサーバー ■ AD DS	<u> </u>	2 役割	と機能の追加						
A DNS		(3)管理	するサーバーの追加	1					
 ■置 ファイル サービスと記憶域サ ▷	最新情報(<u>₩</u>)	4 サーバ	ー グループの作成						
		5 このサ	ーバーをクラウド サ	ービスに接続する	5				
	詳細倍報(L)							非表述	7
	役割とサーバー グループ 役割の数:3 サーバーグ)	-ブの数:1 サーバーの	合計数: 1		7-71 # 177	- #71.000 (-+			
	AD DS	1	🛱 DNS	1	■ サービス	1			
	 管理状態 		 管理状態 		 管理状態 				
	イベント		イベント		イベント				
	サービス		サービス		サービス				
	パフォーマンス		パフォーマンス		パフォーマンス				
	RPA 結果		RPA 結果		RPA 結果				

「次へ」をクリックします。

눰 役割と機能の追加ウィザード	-		×
開始する前に	azqsvad0.	対象サー 2.isrtestad.lo	/î— ical
 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果 	このウィザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共有イ ホストなどの組織のコンビューティング ニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を計 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割と機能の削除ウィザードの起動 続行する前に、次のタスクが完了していることを確認してください。 ・管理者アカウントに強力なパスワードが設定されている ・静的 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている ・Windows Update から最新のセキュリティ更新プログラムがインストールされている 前提条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了して を再度実行してください。 続行するには、[次へ]をクリックしてください。	> Web サイ 夫定します。 5から、ウイサ	⊦ø
	(前への) (オンストールの)	キャンセ	ιL

「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し「次へ」をクリックします。

≧ 役割と機能の追加ウィザ−ド		-		×
インストールの種類	の選択	azqsvad02	対象サー Lisrtestad.le	/î– ocal
開始する前に <u>インストールの種類</u> サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	 インストールの理想を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コの仮想ハードディスク (VHD) にインストールできます。 (2) 役割ゲースまたは機能ベースのインストール 役割、役割サービス、および機能を追加して、1 台のサーバーを構成します。 リモートデスクトップ サービスのインストール 仮想デスクトップ インフラストラウチャ (VDD) に必要な役割サービスをインストールして、仮: ンベースのデスクトップ展開を作成します。 	ンビューター、ま 想マシン ベーフ	たはオフラ スまたはセ:	イン
	< 前へ(P) 次へ(N) > イン	ストール(1)	キャンセ	μ

「サーバープールからサーバーを選択」後、該当のサーバーを選択し「次へ」をクリックします。

🏊 役割と機能の追加ウィザード				-		×
対象サーバーの選択	l			azqsvad02	対象サー isrtestad.lo	/(– scal
開始する前に	役割と機能をインスト	ールするサーバーまたは仮想ハ	ード ディスクを選択します。			
インストールの種類	◉ サーバー ブールから	サーバーを選択				
サーバーの選択		/から進介				
サーバーの役割	サーバー プール					
機能						_
石 館 記名	21/27-:					
結果	名前	IP アドレス	オペレーティング システム			
	azqsvad02.isrtesta	ad.local 10.0.0.5	Microsoft Windows Serv	er 2016 Datacente	er	
	 1 台のコンピューターが	見つかりました				
	このページには、サーバ それ以降のリリースの データ収集が完了して	ー マネージャーの [サーバーの追 Windows Server を実行して いないサーバーは表示されませ	:加] コマンドを使用して追加され :いるサーバーが表示されます。オフ :ん。	た、Windows Serve フライン サーバーや、新	er 2012 ま たに追加さ	たは きれて
		< 育	がへ(P) 次へ(N) >	インストール(1)	キャンセ	μ

「Active Directory Certificate Services」をチェックします。



「機能の追加」をクリックします。



「Active Directory Certificate Services」にチェックが入っていることを確認し、「次へ」 クリックします。



Copyright(C) International Systems Research Co. All Rights Reserved.

「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード		-		×
Active Directory	証明書サービス	azqsvad02.	対象サー/ isrtestad.lo	€– cal
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 AD CS 役割サービス 確認 結果	Active Directory 証明書サービス (AD CS) は、安全なワイヤレス ネットワーク、仮想プライベー ネット プロトコル セキュリティ (IPSec)、ネットワーク アクセス保護 (NAP)、暗号化ファイル システ ログオンなどのシナリオを実現するための証明書基盤を提供します。 注意事項: ・ このコンピューターの名前およびドメイン設定は、証明機関 (CA) のインストール後は変更でき、 の変更、ドメインの追加、またはこのサーバーのドメイン コントローラーへの昇格を行う場合、CA らの変更を完了する必要があります。詳細については、証明機関の名前付けを参照してくだ	ト ネットワ. ム (EFS)、 ません。コン へ のインスト さい。	-ク、インタ・ スマート カ- ピューターキ ール前にこ	- 'F' 3 n
	<前へ(P) 次へ(N) > インスト	~-JJ(<u>I</u>)	キャンセノ	١



「Certification Authority」を選択し「次へ」をクリックします。

「必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する」にチェックを入れます。 次に「はい」をクリックして「インストール」をクリックします。

自動的に再起動しない場合は、チェックを外して進めて下さい。

■1文割と機能の迫加アリリート		_		\sim
インストール オプション	の確認	azqsvad02.is	対象サーバ intestad.loc	t– al
開始する前に インストールの種類	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] ✓ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	をクリックして	ください。	
サーバーの選択 サーバーの役割	オプションの機能(管理ソールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている のオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ] をクリックして、チェック ボックスをオフに	可能性があり してください。	Jます。これ	5
機能 AD CS	Active Directory Certificate Services Certification Authority			
役割サービス 確認	Remote Server Administration Tools Role Administration Tools Active Directory Castificate Services Tools			
結果 役割と機	Certification Authority Management Tools 能の追加ウイザード ×			
4	必要に応じて、このサーバーは通知なしで自動的に再起動されます。自動的に再 起動しますか?			
	はい(Y) いいえ(N)			
	< 前へ(P) 次へ(N) > イソス	⊢/JJ(I)	キャンセル	L I

Copyright(C) International Systems Research Co. All Rights Reserved.

インストール完了後、「対象サーバーに Active Directory 証明書サービスを構成する」をクリックします。

📥 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストールの進行	伏況	azqsvad02	対象サ– isrtestad.lo	-/(- ocal
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 AD CS 役割サービス 確認 結果	インストールの進行状況の表示 ・ 機能のインストール 構成が必要です。azqsvad02.isrtestad.local でインストールが正常に完了しました Active Directory Certificate Services メ会社し、C-L Active Directory 証明会サービスを構成する Certification Authority Remote Server Administration Tools Role Administration Tools Active Directory Certificate Services Tools Certification Authority Management Tools	。 つい要があり	Jます	
	このウィザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行 ページを再度開いたりするには、コマンド バーの [通知] をクリックし、[タスクの詳細] 構成設定のエクスポート	う状況を表示 をクリックしま	にたり、こ す。	Ø
	<前へ(P) 次へ(N) >	閉じる	キャンセ	JV

「次へ」をクリック

🔁 AD CS の構成	- 🗆 X
資格情報	対象サーバー azqsvad02.isrtestad.local
資格情報 役割サービス	役割サービスを構成するための証明書を指定してください
確認 進行状況 結果	次の役割サービスをインストールするには、ローカルの Administrators グループに属している必要があります: スタンドアロン証明機関 証明機関 Web 登録 オンラインレスポンダー 次の役割サービスをインストールするには、Enterprise Admins グループに属している必要があります: エンタープライズ証明機関 証明書の登録ポリシー Web サービス 証明書の登録 Web サービス 証明書の登録 Web サービス マットワーク デバイス登録サービス 資格情報: ISRTESTAD¥appsadmin 変更(C)
	AD CS サーバーの役割の詳細 < 前へ(P) 次へ(N) > 構成(C) キャンセル

🔁 AD CS の構成		-		×
役割サービス	azq	jsvad02.is	対象サー rtestad.lc	バー ical
資格情報 <u>役割サービス</u> セットアップの種類 CA の種類 秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	構成する役割サービスの選択			
	AD CS サーバーの役割の詳細			
	<前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > 構成	党(<u>C</u>)	キャンセノ	١

「証明機関」のチェック確認後、「次へ」をクリックします。

「エンタープライズ CA」選択後、「次へ」をクリックします。

🔁 AD CS の構成	– 🗆 X
セットアップの種類	対象サーバー azqsvad02.isrtestad.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類	CA のセットアップの種類を指定してください エンタープライズ証明機関 (CA) は、Active Directory ドメイン サービス (AD DS) を使用して証明書の管理を簡 階化でまます。コンドプロン CA ごけ AD DS ちぼ用して証明書を発行されば第週することはもしませい
CA の種類 秘密キー 暗号化	 ■ エンタープライズ CA(E) エンタープライズ CA はドメイン メンバーである必要があり、証明書または証明書ポリシーを発行するために通常 はオンラインです。
CA 会 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況	○ スタンドアロン CA(<u>A</u>) スタンドアロン CA はワークグループまたはドメインのメンバーとなることができます。 スタンドアロン CA は AD DS を 必要とせず、 ネットワーク接続なし (オフライン) で使用できます。
結米	セットアップの種類の詳細
	<前へ(P) 次へ(N) > 構成(C) キャンセル

🔁 AD CS の構成	– 🗆 X
CA の種類	対象サーバー azqsvad02.isrtestad.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類 CA の種類	CAの種類を指定してください Active Directory 証明者サービス (AD CS) をインストールする場合は、公開キー基盤 (PKI) 階層を作成または拡張します。 ルート CA は、PKI 階層の最上位に位置し、自身の自己署名証明者を発行します。 下位 CA は、PKI 階層内の上位の CA から証明者を受け取ります。
秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	 ルート CA(B) ルート CA は、PKI 階層で構成される最初の、また場合によっては唯一の CA です。 下位 CA(U) 下位 CA は、確立された PKI 階層を必要とし、階層内の上位の CA によって証明書の発行を許可されます。
	CA の種類の詳細
	<前へ(P) 次へ(N) > 構成(C) キャンセル

「ルート CA」選択後、「次へ」をクリックします。

キーを作成する」選択後、「次へ」をクリックします。

🔁 AD CS の構成	-		×
秘密キー	azqsvad02.is	対象サー rtestad.lo	パー ocal
資格情報 役割サービス セットアップの種類	秘密キーの種類を指定してください 証明書を生成してクライアントに発行するには、証明機関 (CA) に秘密キーが必要です。		
CA の種類 秘密 1- 暗号化	● 新しい秘密キーを作成する(R) 秘密キーがない場合、または新しい秘密キーを作成する場合は、このオブションを使用します。]	
CA 名 有効期間 証明書データベース	 ○ 既任り秘密キーを使用する(U) CA の再インストール時に、以前に発行された証明書との連続性を確保する場合は、このオブショす。 ○ 証明書を選択し、関連付けられている秘密キーを使用する(C) 20コンピューターに既定の証明書がなる場合、またけ証明書を公式してこれに明連付け。 	ンを使用	Lt.
確認 進行状況 結果	 ○ このコンビューターの既存の秘密キーを選択する(E) 以前のインストールの秘密キーを保持している場合、または代替ソースからの秘密キーを使用すのオブションを選択します。 	る場合は	ĩ
	秋寧キーの詳細		
	◎近ギ ₩₽+₩ < 前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > 構成(<u>C</u>)	キャンセ	IL

🔁 AD CS の構成			-		×
CA の暗号化			azqsvad02	対象サ· .isrtestad.l	−/(̈́− local
資格情報 公割サービス	暗号化オプションを指定してください				
セットアップの種類	暗号化プロバイダーの選択(C):		キ−長(<u>K</u>):		
CA の種類	RSA#Microsoft Software Key Storage Provider	~	2048		~
秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	この CA から発行された証明書の署名に使用するハッシュ アルゴ SHA256 SHA384 SHA512 SHA1 MDS CA が秘密キーにアクセスするときに、管理者による操作を許	リズムを選択() へ 。 F可する。(<u>A</u>)	H):]		
	晴号化の詳細 < 前へ(P) 次へ	(<u>N</u>) >	構成(<u>C</u>)	キャンセ	zJL

各設定項目はデフォルトのままで「次へ」をクリックします。

「この CA の共通名」に適当な名称を入力して、「次へ」をクリックします。 自動入力されているので、そのままでも構いません。

📥 AD CS の構成		-		×
CA の名前		azqsvad02.is	対象サー。 rtestad.lo	バー ocal
 資格情報 役割サービス セットアップの種類 CAの種類 秘密キー 暗号化 CA名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果 	CA の名前を指定してください この証明機関(CA)を識別する共通名を入力します。この名前は、CA で発行され ます。識別名のサフィックスは自動的に生成されますが、変更できます。 この CA の共通名(C): <mark>isrtestad-AZQSVAD02-CA</mark> 識別名のサフィックス(D): DC=isrtestad,DC=local 識別名のプレビュー(<u>V</u>): CN=isrtestad-AZQSVAD02-CA,DC=isrtestad,DC=local	れるすべての証明者	きに付加さ	n
	CAの名前の詳細			
	<前へ(P) 次へ(N) >	構成(<u>C</u>)	キャンセノ	ŀ

脑 AD CS の構成	- 🗆 X
有効期間	対象サーバー azqsvad02.isrtestad.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類 CAの種類 秘密キー 暗号化 CA名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	有効期間を指定してください この証明機関(CA)に対して生成される証明書の有効期間を選択(<u>U</u>): <u>年間</u> CA の有効期限: 2022/02/09 5:42:00 Cの CA 証明書に対して構成する有効期間は、その CA が発行する証明書の有効期間を超えている必要があり ます。
	< 前へ(P) 次へ(N) > 構成(C) キャンセル

「次へ」をクリックします。

「次へ」クリックし、最後に「構成」をクリックして完了です。

📥 AD CS の構成		_		×
CA データベース		azqsvad02.	対象サ- isrtestad.l	-バー ocal
資格情報 役割サービス	データベースの場所を指定してください			
セットアップの種類	証明書データベースの場所(<u>C</u>):			
CA の種類	C:¥Windows¥system32¥CertLog			
秘密+	証明書データベース ログの場所(E):			
暗号化	C:¥Windows¥system32¥CertLog			
CA 名				
有効期間				
証明書データベース				
確認				
進行状況				
結果				
	<前へ(P) 次へ(N) >	構成(<u>C</u>)	キャンセ	ll I

「閉じる」をクリックします

🔁 AD CS の構成				_		×
結果				azqsvad02.i	対象サ- isrtestad.le	・バー ocal
資格情報	次の役割、役割サービス、ま	たは機能が構成されました:				
役割サービス	Active Directory 証	明書サービス				
セットアップの種類	57 RB 440 85					
CA の種類	CA構成の詳細		♥ 傾风に成初しました			
秘密+						
暗号化						
CA 名						
有効期間						
証明書データベース						
確認						
進行状況						
結果						
		< 前へ(P)	次へ(<u>N</u>) >	閉じる	キャンセ	μ



「Windows PoserShell」を起動しmmc と入力します。



ウィンドウが開きますので、「ファイル」→「スナップインの追加と削除」をクリックしま す。

	2121-2(wy) - (1)	- 0
- 開く(O) Ctrl+C 上書き保存(S) Ctrl+S 名前を付けて保存(A)	。 5 このビューに表示する項目はありません。	操作 コンソール ルート
スナップインの追加と削除(M) Ctrl+M オンジョン(P) 1 Ci¥Windows¥system32¥dsa		他の強作
終了(X)		

スナップインの追加と削除 х コンピューターで利用できるスナッブインからこのコンソールに使用するスナッブインを選択したり、選択したスナッブインを構成したりできます。拡張可能なスナッブインでは、 どの拡張を有効にするかを構成できます。 利用できるスナップイン(<u>S</u>): 選択されたスナップイン(<u>E</u>): 🚞 コンソール ルート 拡張の編集(<u>X</u>)... スナップイン ベンダー \wedge 昌 デバイス マネージャー Microsoft Corp... 削除(<u>R</u>) Microsoft Corp... Microsoft Corp... 🔲 フォルダー Microsoft Corp... 上へ移動(<u>U</u>) 🗊 ポリシーの結果セット Microsoft Corp... 重ルーティングとリモート アクセス Microsoft Corp... 下へ移動(D) 追加(<u>A</u>) > 後ローカル バックアップ Microsoft Corp... シローカル ユーサーとグループ Microsoft Corp... 🔚 印刷の管理 Microsoft Corp... 2011 共有フォルダー Microsoft Corp... ▲ 八日ンボン 承認マネージャー ■ 証明機関 Microsoft Corp... Microsoft Corp... ☞ 証明書 図 証明書テンプレート Microsoft Corp... 詳細設定(<u>V</u>)... Microsoft Corp... ¥ 説明: 証明機関のプロパティを構成し、この CA から発行された証明書を管理することができます。 キャンセル OK

「証明機関」を選択し、「追加」をクリックします。

証明機関	×
このスナップインで管理するコンピューターを選択してください。	
このスナップインで管理するコンピューター:	
● ローカル コンビューター(L): (このコンソールを実行しているコンピューター)	
○別のコンピューター(<u>A</u>): 参照(ℝ)	
□ コマンドラインから起動したときは、選択されたコンピューターを変更できるようにする(<u>O</u>) これは、コンソールを保存した場合にのみ適用されます。	
< 戻る(<u>B</u>) 完了 キャンセル ヘルプ	

「ローカルコンピューター」を選択し、「完了」をクリックします。

「証明書」を選択し、「追加」をクリックします。

ンパシーターで利用できるスナップイ どの拡張を有効にするかを構成で、 利用できるスナップイン(S): スナップイン 開デバイスマネージャー 愛テレフォニー のパフォーマンスモニター フォルダー 調ポリシーの結果セット 面・ディングとリモートアクセス しーラルレパックアップ ローカルパックアップ ローカルズックープ 読印制の管理 認共有フォルダー 読証明微問 記明書	ベンダー Microsoft Corp Microsoft Corp	使用 <	lまるスナップインを注 追加(<u>A</u>) >	闇択したり、 選択したスナップインを構成 選択されたスナップイン(E): □ コンソール ルート □ 証明機関 (ローカル)	へ したりできます。拡張可能なスナップインでは、
説明: 証明書スナップインを使うとユーザ・	ー、サービス、またはコン	צי-	_ -タ−の証明書スト〕	7の内容を閲覧できます。	ОК + +уури

「コンピューターアカウント」を選択し、「	「次へ」をクリックします。
----------------------	---------------

証明書スナップイン			×
このスナップインで管理する証明書:			
〇 ユーザー アカウント(<u>M</u>)			
○ サービス アカウント(S)			
● コンピューター アカウント(C)			
	< 戻る(<u>B</u>)	次へ(<u>N</u>) >	キャンセル

「ローカルコンピューター」を選択し、「完了」をクリックします。

コンピューターの選択	×
このスナップインで管理するコンピューターを選択してください。 このスナップインで管理するコンピューター: ④ローカルコンピューター(L): (このコンソールを実行しているコンピューター)) 〇 別のコンピューター(A): ⑤ コマンド ラインから起動したときは選択されたコンピューターを変更できるようにする(W) これは、コンソールを保存した場合にのみ適用されます。	
< 戻る(<u>B</u>) 完了 キャンセル	

「証明書テンプレート」を選択し、「追加」をクリックします。

スナップインの追加と削除					×
コンピューターで利用できるスナップ1 どの拡張を有効にするかを構成で	インからこのコンソールに きます。	使用	するスナップインを追	選択したり、選択したスナップインを構成したりでき	ます。拡張可能なスナップインでは、
利用できるスナップイン(<u>S</u>):				選択されたスナップイン(<u>E</u>):	
スナップイン 一 デバイスマネージャー ③ テレフォニー ③ パフォーマンスモニター 三 フォルダー 三 ポリシーの結果セット 三 ルーティングとリモート アクセス ④ ローカル バックアップ ● ローカル ユーザーとグループ ● 印刷の管理	ベンダー Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp	~	這加(<u>A</u>) >	 ■ コンソールルート □ 証明機関(ローカル) □ 証明書(ローカルコンピューター) 	拡張の編集(2) 削除(<u>B</u>) 上へ移動(<u>U</u>) 下へ移動(<u>D</u>)
 ※1 共有フォルター ※2 共有フォルター ※2 柔認マネージャー ※1 証明機関 ※1 証明書 ※1 証明書ランプレート 説明: 証明書のテンプレート スナップインジ 	Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp Microsoft Corp を使うと、証明書テンプ	~ ブレー	トの作成および管理	更を行うことができます。	詳細設定(<u>()</u>
					OK キャンセル

「OK」をクリックします。

スナップインの追加と削除					×
コンピューターで利用できるスナップ・ どの拡張を有効にするかを構成で	インからこのコンソールに きます。	使用	月するスナップインを追	選択したり、選択したスナップインを構成したり で	できます。拡張可能なスナップインでは、
利用できるスナップイン(<u>S</u>):				選択されたスナップイン(<u>E</u>):	
スナップイン 計デバイス マネージャー デレフォニー () パフォーマンス モニター コオルダー リルーマイングとリモート アクセス ローカル パックアップ ローカル パックアップ ローカル ユーザーとグループ いのの管理 スキママネージャー 証明機関 副証明書 副証明書 記明書テンプレート	ベンダー Microsoft Corp Microsoft Corp	~	< (<u>A</u>) الرائي:	 ■ シソール ルート ■ 証明機関 (ローカル) ■ 証明書 (ローカル コンピューター) ■ 証明書テンプレート 	<u>拡張の編集(X)</u> 削除(<u>R</u>) 上へ移動(<u>U</u>) 下へ移動(<u>D</u>) 詳細設定(<u>V</u>)
説明: 証明書のテンプレート スナップイン	を使うと、証明書テン	プレー	トの作成および管理	里を行うことができます。	OK キャンセル

2.証明書の有効期限

「証明書テンプレート」をクリックし、「ドメインコントローラの認証」で右クリックして、「プ ロパティ」を選択します。

ᡖ コンソール1 - [コンソール ルート¥証明	月書テンプレート (azqsvad02.isrtestad.local)]				– 🗆 ×
🜇 ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	お気に入り(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)				_ 8 >
🗢 🔿 🙍 📷 🔯	D B				
📔 א-א א-א	テンプレート表示名	スキーマのバージョン	パージ	使用目的 ^	操作
> 🛅 証明機関 (ローカル)	CA Exchange	2	106.0	秘密キーのアーカ	証明書テンプレート (azosvad02▲
> 🔛 証明書 (ローカル コンピューター)	· 图 CEP 暗号化	1	4.1		他の操作
 2 証明書テンノレート (azqsvad0) 	雇 EFS 回復エージェント	1	6.1		1803911
		1	7.1		ドメイン コントローラーの認証 🔺
	Image With A state of the state of	1	6.1		他の操作 ▶
	 	1	4.1		
	2 IPSec	1	8.1		
	 図 IPSec (オフライン要求) 	1	7.1		
	/ 图 Kerberos 認証	2	110.0	クライアント認証	
	🗟 OCSP 応答の署名	3	101.0	OCSP 署名	
	図 RAS および IAS サーバー	2	101.0	クライアント認証	
	@ Web サーバー	1	4.1		
	🗟 キー回復エージェント	2	105.0	キー回復エージェ	
	🗟 クロス証明機関	2	105.0		
	@ J-ド署名	1	3.1		
	◎ コンピューター	1	5.1		
	🗟 スマート カード ユーザー	1	11.1		
	🗟 スマート カード ログオン	1	6.1		
	🐵 ディレクトリ電子メール レプリケーション	2	115.0	ディレクトリ サービ	
	🗟 ドメイン コントローラー	1	4.1		
		2	110.0	クライアント認証	
	図 ユーザー テンプレートの複製(U)		3.1		
	図 ユ−ザ−署 証明書保持者をすべて再登録	录する(E)	4.1		
	·····································	>	4.1		
			5.1		
	アークステ プロパティ(R)		101.0	クライアント認証	
			5.1		
	@ 管理者		4.1		
	/ 圆 基本 EFS	1	3.1		
< >			~ *	· · ·	
翌年1 た頂日のプロパティダイマログ ボッ	クフを開きます				JI.

「有効期限」を確認し、20年などの長い期間に変更し、「OK」をクリックします。

701-07								
先11の支 会郎	E件 〒+6-1	優先するテン	パレート	拡張	機能	セキュリテ	۲ 4	サーバ
王成	旦 探 (E 要求)	処理 『	信号112	キーの	備成証明	্র স	シェクト
テンプレー	ト表示名	(<u>E</u>):						
FX12-	כ-חיוער	一の認証						
テンプレー	ト名(①:							
Domain	Controlle	erAuthentic	ation					
右动期期	1/10			ᅗᇔᇉᄬᆔᄩ	(D).			
1月 201 舟1日	a(<u>v</u>): ∕~			史新期間	(<u>R</u>):			
24	4	~		0	迴	~		
			を発行する	5(D)				
□ Active	e Directo		2,7611,9 0					
	e Directo	ryの証明者 sctony/F電	自まる証明	事がする		動的に再発	編ました	
Activ	e Directo ctive Dire	ry の証明者 ectory に重ね	腹する証明	書がある	場合、自	動的に再登	録しな	ίι)(<u>D</u>)
Activ	e Directo ctive Dire	ry の証明者 ectory に重	腹する証明	書がある	場合、自	動的に再登	録しな	່ເນ(<u>D</u>)
Activ	e Directo .ctive Dire	ry の証明者 actory に重行	腹する証明	きがある	場合、自	動的に再登	録しな	ίι (<u>D</u>)
Activ	e Directo ctive Dire	ry の証明者 ectory に重着	腹する証明	書がある	場合、自	動的に再登	録しな	ίν(<u>D</u>)
Activ	e Directo ctive Dire	ry の証明者 actory に重着	腹する証明	書がある	場合、自	動的に再登	き録しな	ίν(<u>D</u>)
Activ	e Directo ctive Dire	ry の証明智 ectory に重待	复する証明	書がある	場合、自	動的に再登	録しな	ίν(<u>D</u>)
Activ	e Directo ctive Dire	ry の証明者 actory に重待	复する証明	書がある	場合、自	動的に再登	縁しな	ίι(<u>D</u>)
Activ	e Directo	ry の証明書 actory に重行	复する証明	書がある	場合、自	動的に再登	録しな	ιν(<u>D</u>)
Activ	e Directo	ry の証明書 actory に重打	寝する証明	きがある	場合、自	動的に再登	録しな	ίν(<u>D</u>)
Activ.	e Directo	op の証明書 actory (重計	复する証明 キャ	きがある		動的に再登 第甲(Δ)	録しな	い(<u>D</u>)

Copyright(C) International Systems Research Co. All Rights Reserved.

3.証明書の作成

左ペインで「証明書」→「個人」→「証明書」を選択します。 中央ペインの何もないところで右クリックし、「すべてのタスク」 →「新しい証明書の要求」をクリックします。

🚟 コンソール1 - [コンソール ルート¥証明	引書 (ローカル コンピューター)¥個人¥	(証明書]						-	×	
💁 ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	お気に入り(O) ウインドウ(W)	ヘルプ(⊦	I)						- 8	×
🗢 🔿 🙍 📅 📋 🙆	?									
📔 コンソール ルート			発行者		有効期	限目的	操作			
> 🍙 証明機関 (ローカル)	🕼 isrtestad-AZQSVAD02-CA		isrtestad-AZQSV	AD02-CA	2022/02	2/09 <す/	(て> 証明	唐		
✓ ■ 証明音 (ローカル コンピューター)								他の操作	•	•
証明書										
> 🧾 信頼されたルート証明機関										
> III エンタープライスの信頼 、 一 由時な旧総額		すべての	9スク(K)	>	新しい証明書の要	求(R)				
> 🧰 市面ա5760度		最新の情	長報に軍新(F)		1ンホート(り					
> 🧮 信頼されていない証明書			クスポート(L)		詳細設定操作(A)	>				
> 🔛 サードバーティルート証明機		==					1 I			
 クライアント認証発行者 		3C/I(V)		-						
> 📔 プレビュー ビルドのルート		アイコンの)整列(I)	>						
> 📔 リモート デスクトップ		等間隙に	[整列(E)							
> 証明者の豆塚安水 > スマートカードの信頼された。		ヘルプ(H)							
> 🧰 信頼されたデバイス										
> 📔 Windows Live ID Token I										
 副 証明書テンノレート (azqsvad0) 										
< >	<						>			
ドメインの証明機関 (CA) から新しい証明	書を要求します									

「次へ」をクリックします。

	-		×
😱 証明書の登録			
開始する前に			
次の手順では証明書をインストールします。証明書はデジタル資格情報で、ワイヤレス ネットワーク 保護、識別情報の確立、およびその他のセキュリティ関連タスクの実行に使用されます。	への接続、	コンテンツ	Ø
証明書を要求する前に、次の点を確認してください:			
使用するコンピューターがネットワークに接続されている 証明書を取得する権利があることの確認に使用できる資格情報を持っている			
次小	<u>N</u>)	キャンセ	.ll

「Active Directory 登録ポリシー」を選択し、「次へ」をクリックします。

		-		×
Ling I ili	明音の登録			
	証明書の登録ポリシーの選択			
	証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能にするもの 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。)です。場合	合によって	t.
	システム管理者が構成します			
	Active Directory 登録ポリシー		(•
	ユーザーが構成します		新規追	加
	次个	(<u>N</u>)	キャンさ	2JV

「ドメインコントローラの認証」を選択し、「登録」をクリックします。

📮 証明	明書の登録		-		×
Ē	証明書の要求				
2	次の種類の証明書を要求できます。要求する証明 Active Directory 登録ポリシー	明書を選択し、[登録] をクリックしてください。			
	☐ Kerberos 認証			詳細、	~
	□ ディレクトリ電子メール レプリケーション	伏態:利用可能		詳細、	~
	-ד-דאעב עראלי			詳細、	~
	☑ トンイン コントローラーの認証	 ······ ···· ····		詳細,	~
	□ すべてのテンブレートの表示(<u>A</u>)				
		클	^E 録(<u>E)</u>	キャンセ	JL

「完了」をクリックします。

i	明書の登録		_		×
	証明書インストールの結果				
	次の証明書が登録され、コンピューターにイ	インストールされました。			
	Active Directory 登録ポリシー				
	☑ ドメイン コントローラーの認証	✓ 状態: 成功		詳細、	-
				完了((F)

※P8 で自動的に再起動するにチェックをしなかった場合、もしくはチェックしても再起動されていない場合は、証明書の役割が反映されておらず CloudGate との通信ができない場合がありますので、必ず再起動をお願いします。